



今月のトピック

機器の簡易メンテナンスで
栽培開始後のトラブル回避！



7月から9月にかけては、トマト農家様もイチゴ農家様も新しい作付けを開始することが多いと思います。栽培システムを使い始めて1~2ヶ月経過すると、さまざまな機器トラブルに見舞われることが……。今回は栽培システムの簡単なメンテナンスについてご紹介します。

これだけはやっておきたい！簡易メンテナンス

メンテナンス担当からの
あるあるを集めました！



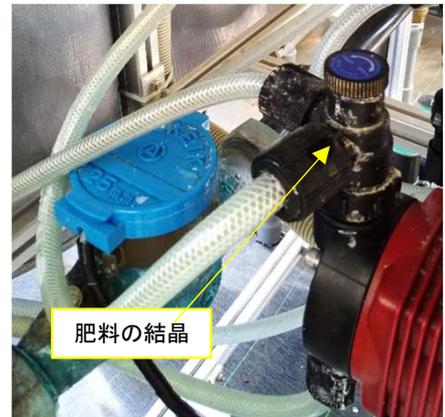
●液肥混入器のホースストレーナーの清掃

液肥混入器のホースストレーナーの汚れは肥料の吸い上げに影響します。ホースからストレーナーを抜き（おもりがある場合は肥料タンクに落とさないように注意！）、ストレーナーの網の部分を歯ブラシ等でこすり洗いをします。とくにストレーナーの内側は汚れを見落としがちです。ヘッドの小さい歯ブラシを使うと洗いやすいです。



●液肥混入器のホースの清掃

ホースが汚れているとエア溜まりを見落としやすくなります。ホースの表面をウエス等で拭きます。



●液肥混入器のホースの硬さチェック

ホースの劣化は肥料の吸い上げに影響します。ホースが内部が見えないほどに白濁している、硬くなっている場合（指でつまむと弾力がない、つぶしにくい）は、新しいホースへの交換をおすすめします。

●液肥混入器や電磁弁の清掃

機器類が肥料の結晶などで汚れていると水や肥料の漏れに気づきにくくなります。機器類の表面をウエスで拭きます。

●給液ユニット付属のフィルターの清掃

フィルターの汚れは末端（点滴チューブやドリッパー）の圧力低下につながり、灌水量が不足したり、圃場全体に均等に灌水できなかつたりします。ひどく汚れる前に清掃できることが理想的ですが、いつもより灌水量が少ない、灌水に時間がかかっている、灌水ムラがある、圧力が低い、液肥の濃度が低い（電磁定量ポンプの場合）といったことを感じたら、まずはフィルターを洗ってみましょう。



栽培システムのトラブルに困ったら？

機器トラブルのご相談、点検修理のご依頼は、トヨタネ公式LINEからお問い合わせが可能です。方法はQRコードから友達登録していただき、トーク画面からメッセージを送るだけ！メッセージのほか、画像や動画も添付いただけるとより早く、正確に解決することができます。ぜひご利用ください！



LINE 公式アカウント
@801silag

こちらから
友達登録
できます

